

シリーズ
まちづくり
実働組織

みんなであいまいまちを元気に！

「大平わいわいテラス」



「かかしとマルシェ」で円陣を組む皆さん(令和元年9月)



「ふるさとの歴史を歩く」と題し、例幣使街道の富田宿を案内



子どもたちとのづくりで楽しむ「わいわいクラフト広場」

大平地域の様々な団体が結集

「最近大平で、なんだかイベントが増えている？」という噂を聞いたことはありませんか？今、市内の大平地域で、多彩な活動を繰り出している注目の団体が「大平わいわいテラス」です。

大平地域で活動するまちづくり活動団体などが手を取りあい、平成28年12月、大平地域を活性化していくための勉強会を設立。5回の勉強会を経て、翌年9月、栃木市独自の地域づくり制度である「まちづくり実働組織」として発足。栃木市まちづくり実働組織として認定され、市内8番目の実働組織「大平わいわいテラス」として正式に活動を開始しました。

「テラス」を中心としたユニークな組織

「わいわいがやがや、意見交換や話し合う場ができるよう、カフェのテラスをイメージ」して「大平わいわいテラス」とネーミングされたこの実働組織。その特徴は、なんといってもそのユニークな組織形態にあります。地域のなかで、それぞれがやりたい活動テーマごとに「テラス」と呼ぶグループを組織。現在は6つの「テラス」がそれぞれのテーマに沿った活動を行い、地域の活性化を図ります。

感染症対策に合わせた企画で

マルシェやものづくりイベント、自然体験や地域の歴史ウォーキングなど、各テラスが順調に活動を開始していたわいわいテラスですが、昨年は感染症の拡大により、SAKURAフェスが中止になるなど、大きな影響を受けました。

世間で様々な催しが中止となっていく中、「みなさまにゆつたりのんびりしてもらいたい」と、地域のイベントテラスのメンバーで話し合い、感染症下でも行える内容と会場での対策を企画。9月にかかしの里で、マルシェイベント「かかしとマルシェ2020」を成功させました。その後も、光と音のページェントとコラボした、子育て子供向けイベントテラスによる「わいわいクラフト広場」の開催。さらには、テラスの枠を超えた活動として、大平地域の風景や民話、建造物など12件を「おおひら世間遺産」として認定し、パネル展を行って地域の魅力を発信するなど、感染症対策に配慮しながら、多岐にわたる活動が続いています。



「かかしとマルシェ」の会場に飾られたかかしは、同地域の西山地区を象徴するモチーフ



雑誌調の縦書きのデザインが印象的な公式HP

ただ、まっすぐに「いい家づくり」を貫いて100年

真心こめて次の100年へ



木の花ホームは2021年4月、創業100周年を迎えました。大正、昭和、平成、令和との長き時代の中で、幾多の困難もございましたが、地域のお客様、木の花ホームを支えてくださる協力業者の皆様と共にこれらを乗り越えてまいりました。これからも地域密着・いい家づくりへの情熱を忘れずに、お客様の最高の満足を目指して、次の10年、20年、そして更なる100年に向け歩み続けます。

栃木商工会議所にて
4月17日(土)・18日(日) 住まいの相談会イベント開催

※イベント情報は制作時の情報であり、変更の場合がございます。最新情報はHPでご確認ください。

大工3代、いい家づくり。
木の花ホーム

イベントなどの最新情報は
こちらでチェック!!

木の花ホーム

検索

〒322-0606 栃木市西方町本城62-3 **0120-895087**

建設業許可/栃木県知事許可(般-24)22929号宅地建物取引業者免許栃木県知事(1)第4807号